

石川町長 塩田 金次郎 様

要 望 書

町議会の運営につきましては、日ごろ特段の御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当議会では、議会の政策形成、団体意思決定、行政監視などの機能を十分に発揮するため、議会活性化の取り組みの一環として、議会報告会を開催しているところです。

昨年度は、去る1月14日から16日までの3日間にわたり、石川町共同福祉施設など町内6つの会場において総勢182名の皆様に参加をいただき、「議会報告と町民の意見を聞く会」を開催いたしました。

また、各会場では、多くの参加者から、議会をはじめ町政全般に対する貴重な御意見、御要望を拝聴することができました。特に、台風第19号において多くの方が被災されていることから、災害対策に対する多くのご意見、ご要望を伺ったところです。

つきましては、当議会において、町執行部に対する意見等の整理・検討を行い、下記のとおり要望事項として取りまとめましたので、今後の町政運営に反映されますよう特段の御配慮をお願いいたします。

記

1 災害対策について

① 防災計画の見直しについて

町民の生命財産を災害から守るため、防災対策の強化充実は不可欠である。町では、災害対策基本法第42条の規定に基づき「石川町地域防災計画」を定めているが、本町に未曾有の災害をもたらした台風第19号など、近年の災害の教訓を活かし、地域防災計画の見直しを行うこと。特に避難所のあり方については、多くの課題が生じたことから、その見直しを行うこと。

② 自主防災組織の育成について

台風第19号においては、これまで経験したことのない水害により、多くの町民が被災し、行政機能だけでは対応が難しい状況となった。このような状況下では、近隣同士で助け合う「共助」が大きな役割を持つことから、住民による迅速な安否確認や救助活動が可能となるよう自主防災組織の育成を行うこと。

③ 災害時の情報伝達について

町民の多くから、災害の際に住民への情報伝達の役割を担う防災行政無線が聞こえにくかったとの指摘があり、行政による災害情報の伝達のあり方に課題を残した。については、迅速・的確な災害情報を提供できるよう情報伝達基盤の整備を図ると共に、より効果的な情報伝達手段について検討すること。

④ 消防団の組織強化について

消防団は地域防災の要であるが、消防団員のなり手不足が依然として続くなど厳しい状況にある。消防団は、将来にわたり地域防災力の中核として欠くことのできないものであることから、団員の確保や施設の維持に対して、十分な支援を講じると共に、自治会消防等の支援組織等その対応策について検討すること。

2 農業の振興について

① 新規就農者の育成について

農業従事者の減少傾向に歯止めがかからない最も大きな要因に少子高齢化が挙げられるが、その流れが今後ますます加速していくことが懸念されている。については、先進的な科学技術を取り入れたスマート農業の導入などにより、新規就農者が意欲と使命を感じることが出来る対策を行うと共に、新規就農者を支援する仕組づくりを進めること。

② 農産物の特産品化について

「売れるものを作る」ことで、より収益力の高い農業経営を目指すことができ、農業に対する生産意欲を向上させることができる。については、本町の農産物品目の付加価値化の向上と6次化による新たな商品の開発等を行い、農産物の特産品化を図ること。

③ 有害鳥獣対策について

近年、中山間地の田畑においては、大切に育てた米や野菜などが野生動物により食い荒らされたり、掘り返されたりするなどの被害が発生している。野生動物の中でも、特にイノシシが原因だと思われる被害が多発している。これまでも、対応策を講じていることは承知しているが、農業者の生産意欲を減退させないためにも更なる強固な対策を進めること。

3 子育て支援（保育）の充実について

① 保育について

子どもを安心して預けられる環境の整備は、保護者にとって安心して働け、また子どもにとっても健やかで豊かな感性を育むことができる。本町においては、認定こども園の建設が計画されているが、建設場所については、安全で安心できる場所に建設をすること。また、保護者の負担軽減や児童通所の安全確保の観点から送迎について検討すること。

② 子育て支援について

現在、町では、子育てに対し、金銭面において多くの支援を行っているが、金銭面だけではなく、例えば、保育所における長時間保育や夏休み期間の子ども預かりなど、保護者の声に耳を傾け、保護者のニーズに即した支援について検討すること。

令和2年5月13日

石川町議会議長 草野 伝 明